

2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年8月14日

上場会社名 株式会社kubell
コード番号 4448

上場取引所

東

URL <https://www.kubell.com/ir/>

代表者（役職名） 代表取締役兼社長上級執行役員CEO（氏名） 山本 正喜

問合せ先責任者（役職名） 取締役兼上級執行役員CFO（氏名） 井上 直樹（TEL）050(1791)0683

半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	3,994	36.6	313	—	27	—	16	—	24	—
2023年12月期中間期	2,924	36.0	△134	—	△424	—	△427	—	△418	—

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 24百万円（—%） 2023年12月期中間期 △428百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期中間期	0	61	0	60
2023年12月期中間期	△10	46	—	—

(注) 1. 2023年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

2. EBITDA=営業損益 + 減価償却費及び無形固定資産償却費 + 株式報酬費用

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	6,624	—	2,592	—	39.1	—
2023年12月期	6,273	—	2,422	—	38.6	—

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 2,592百万円 2023年12月期 2,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,365 ~8,495	29 ~31	574 ~600	—	1 ~27	—	△17 ~8	—	△97 ~△67	—	△2.39 ~△1.65	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	40,997,216株	2023年12月期	40,627,295株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	53,140株	2023年12月期	25,201株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	40,719,237株	2023年12月期中間期	40,011,267株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「働くをもっと楽しく、創造的に」というミッションのもと、人生の大半を過ごすことになる「働く」という時間において、ただ生活の糧を得るためだけではなく、1人でも多くの方がより楽しく、自由な創造性を存分に発揮できる社会を実現することを目指し、仕事の効率化や創造的な働き方を実現するサービスの開発・提供に取り組んでおります。

このようなミッションのもと、現在の主力サービスであるビジネスチャットツール「Chatwork」は国内中小企業を中心とした顧客企業の労働生産性の向上や働き方の多様性を提供しており、国内利用者数N01(注1)のサービスとなります。中長期のビジョンとしてこのビジネスチャットの中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していく事でさらなる中小企業のDX化に貢献してまいります。

当中間連結会計期間においては、「Chatwork」の普及とビジネスチャットのプラットフォームを活かした周辺サービスの拡大に投資をおこなってまいりました。前期に実施した価格改定によるARPUの上昇、BPaaS(注2)の自社サービスとしてリリースした「Chatwork アシスタント」等の施策により事業は順調に拡大をしております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は3,994,967千円(前中間連結会計期間比36.6%増)、EBITDA(注3)313,132千円(前中間連結会計期間は134,521千円の損失)、営業利益27,304千円(前中間連結会計期間は424,811千円の営業損失)、経常利益16,473千円(前中間連結会計期間は427,185千円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益は24,874千円(前中間連結会計期間は418,378千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

(Chatworkセグメント)

売上高は3,920,425千円(前中間連結会計期間比39.5%増)、セグメント利益は17,929千円(前中間連結会計期間は459,578千円のセグメント損失)となりました。

Chatworkアカウント事業のARR(注4)、課金ID数、ARPU推移

	2021年12月期 第4四半期	2022年12月期 第4四半期	2023年12月期 第4四半期	2023年12月期 第2四半期	2024年12月期 第2四半期
ARR(百万円)	3,447	4,425	6,180	4,726	6,735
課金ID数(万)	54.7	66.8	73.1	72.0	75.4
ARPU(円)	529.4	547.4	672.4	548.3	715.5

(セキュリティセグメント)

セキュリティセグメントについては、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は74,541千円(前中間連結会計期間比34.4%減)、セグメント利益は9,374千円(前中間連結会計期間比73.0%減)となりました。

(注)1. Nielsen NetView 及びNielsen Mobile NetView Customized Report 2023年5月度調べ月次利用者(MAU:Monthly Active User)調査。調査対象はChatwork、Microsoft Teams、Slack、LINE WORKS、Skypeを含む44サービスを株式会社kubellにて選定。

2. Business Process as a Serviceの略。ソフトウェアの提供ではなく、業務プロセスそのものを提供するクラウドサービスであり、クラウド経由で業務アウトソーシング(BPO)が可能

3. EBITDA=営業損益+減価償却費及び無形固定資産償却費+株式報酬費用

4. Annual Recurring Revenueの略。毎年継続して発生する収益 MRR(Monthly Recurring Revenue、毎月繰り返して得ることのできる売り上げ)の12倍

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて351,241千円増加し、6,624,732千円とな

りました。これは主にのれんが59,583千円減少、ソフトウェアが67,823千円減少、現金及び預金が407,865千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて180,915千円増加し、4,032,187千円となりました。これは主に、長期借入金が113,507千円減少、契約負債が179,623千円増加、未払金が55,172千円増加、未払法人税等が47,927千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて170,325千円増加し、2,592,544千円となりました。これは主に、資本金が72,738千円増加、資本剰余金が72,738千円増加、利益剰余金が24,874千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は39.1%(前連結会計年度末は38.6%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて407,865千円増加し、2,510,353千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは782,141千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益16,473千円の計上、前払費用が191,908千円減少、契約負債が179,623千円増加、減価償却費を155,640千円計上したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、288,828千円の支出となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出263,550千円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、84,156千円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出108,314千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの中期経営計画では2026年12月期までに中小企業No.1 BPaaSカンパニーのポジションを確立し、長期的には中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していくことを目標としております。2024年12月期から2026年12月期では、中小企業No.1 BPaaSカンパニーの目標に向けてグループ全体の成長を加速させると共に、利益を生み出せる体制の構築を進めてまいります。

中期目標としては2023年12月期から2026年12月期までの連結売上高CAGR30%以上、2026年12月期において売上高150億円、EBITDAマージン10~15%を目指しております。

上記方針に基づき、2024年12月期においてはビジネスチャットツール「Chatwork」の普及とBPaaSのミナジンおよびChatwork アシスタントへの投資と利益を生み出す体制の構築を進めることで、引き続き高い成長率の維持と収益性の改善を同時に進めてまいります。通期の業績見通しは以下の通りでございます。

レンジにつきましてはビジネスチャットのフリープランの提供内容の改定および有料プランの機能追加等による課金ID数の変動、BPaaSの顧客拡大による売上の変動を想定しております。

(単位:百万円)

	2023年12月期 実績	2024年12月期 予想	前年同期比
売上高	6,485	8,365 ~ 8,495	+29.0% ~ +31.0%
売上総利益	4,150	5,665 ~ 5,794	+36.5% ~ +39.6%
売上総利益率	64.0%	67.7% ~ 68.2%	+3.7pt ~ +4.2pt
EBITDA	△83	574 ~ 600	-
営業利益	△677	1 ~ 27	-
経常利益	△686	△17 ~ 8	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△620	△97 ~ △67	-

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,102,487	2,510,353
売掛金	432,075	427,408
前払費用	608,346	421,750
その他	74,311	31,150
貸倒引当金	△254	△254
流動資産合計	3,216,966	3,390,408
固定資産		
有形固定資産	11,080	6,963
無形固定資産		
ソフトウェア	465,353	397,530
のれん	1,029,292	969,708
その他	704,248	878,300
無形固定資産合計	2,198,894	2,245,539
投資その他の資産	846,549	981,821
固定資産合計	3,056,524	3,234,323
資産合計	6,273,490	6,624,732
負債の部		
流動負債		
未払金	273,017	328,189
未払費用	216,809	241,403
未払法人税等	43,990	91,918
契約負債	1,565,770	1,745,394
賞与引当金	26,113	30,963
短期借入金	1,300	—
1年内返済予定の長期借入金	262,336	267,529
その他	157,304	141,544
流動負債合計	2,546,641	2,846,942
固定負債		
長期借入金	1,114,924	1,001,417
繰延税金負債	117,432	110,967
退職給付に係る負債	2,274	2,860
その他	70,000	70,000
固定負債合計	1,304,630	1,185,245
負債合計	3,851,271	4,032,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,748,254	2,820,993
資本剰余金	2,734,114	2,806,853
利益剰余金	△3,060,060	△3,035,186
自己株式	△88	△115
株主資本合計	2,422,218	2,592,544
純資産合計	2,422,218	2,592,544
負債純資産合計	6,273,490	6,624,732

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,924,535	3,994,967
売上原価	1,085,896	1,290,139
売上総利益	1,838,638	2,704,827
販売費及び一般管理費	2,263,449	2,677,523
営業利益又は営業損失(△)	△424,811	27,304
営業外収益		
受取利息	85	8
為替差益	1,014	—
助成金収入	2,497	—
ポイント収入額	3,330	2,798
雑収入	259	96
営業外収益合計	7,186	2,902
営業外費用		
支払利息	7,970	8,125
為替差損	—	1,311
株式交付費	506	481
その他	1,084	3,814
営業外費用合計	9,560	13,733
経常利益又は経常損失(△)	△427,185	16,473
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△427,185	16,473
法人税、住民税及び事業税	3,287	60,548
法人税等調整額	△2,070	△68,948
法人税等合計	1,217	△8,400
中間純利益又は中間純損失(△)	△428,402	24,874
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△10,024	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△418,378	24,874

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△428,402	24,874
中間包括利益	△428,402	24,874
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△418,378	24,874
非支配株主に係る中間包括利益	△10,024	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△427,185	16,473
減価償却費	182,541	155,640
のれん償却額	63,105	59,583
株式報酬費用	46,764	65,553
株式交付費	506	481
受取利息及び受取配当金	△103	△26
助成金収入	△2,497	—
支払利息	7,970	8,125
コミットメントフィー	371	374
為替差損益(△は益)	△19	1,290
売上債権の増減額(△は増加)	5,043	4,666
貸倒引当金の増減額(△は減少)	188	—
前払費用の増減額(△は増加)	△146,921	191,908
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,139	4,849
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	196	586
未払金の増減額(△は減少)	△26,012	59,810
未払費用の増減額(△は減少)	△22,099	24,594
未払法人税等の増減額(△は減少)	△3,413	△7,456
契約負債の増減額(△は減少)	88,317	179,623
その他	△3,167	29,693
小計	△242,552	795,773
利息及び配当金の受取額	103	26
助成金の受取額	2,497	—
利息の支払額	△7,990	△8,120
コミットメントフィーの支払額	△371	△374
法人税等の支払額	△6,081	△5,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	△254,395	782,141
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△393	△1,024
無形固定資産の取得による支出	△231,924	△263,550
投資有価証券の取得による支出	△29,987	△20,000
差入保証金の差入による支出	△12,162	△4,254
敷金及び保証金の回収による収入	480	—
貸付けによる支出	△30,000	—
長期預金の預入による支出	△350,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△580,349	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,234,336	△288,828
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,500	△1,300
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△102,260	△108,314
株式の発行による収入	39,400	25,965
新株発行による支出	△506	△481
自己株式の取得による支出	—	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	235,133	△84,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△1,290
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,253,578	407,865

現金及び現金同等物の期首残高	2,850,323	2,102,487
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,596,745	2,510,353

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、2024年4月1日付で会社分割(簡易新設分割)により設立した株式会社kubellパートナーを連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatwork セグメント	セキュリティ セグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	109,133	113,676	222,809	222,809
一定の期間にわたり移転される財	2,701,726	—	2,701,726	2,701,726
顧客との契約から生じる収益	2,810,859	113,676	2,924,535	2,924,535
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,810,859	113,676	2,924,535	2,924,535
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,810,859	113,676	2,924,535	2,924,535
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△459,578	34,766	△424,811	△424,811

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatwork セグメント	セキュリティ セグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	139,359	74,541	213,900	213,900
一定の期間にわたり移転される財	3,781,066	—	3,781,066	3,781,066
顧客との契約から生じる収益	3,920,425	74,541	3,994,967	3,994,967
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,920,425	74,541	3,994,967	3,994,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,920,425	74,541	3,994,967	3,994,967
セグメント利益	17,929	9,374	27,304	27,304

(注)セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

当社は、2024年2月9日開催の取締役会において、当社のBPaaS (Business Process as a Service) 事業を、2024年4月1日を効力発生日とする新設分割 (以下「本分割」といいます。)の方法により、当社が新たに設立する新設分割設立会社に承継させることを決議し、2024年4月1日に設立いたしました。本分割により、株式会社ミナジンは、当社の100%子会社から、新設分割設立会社の100%子会社となり、当社の孫会社となります。

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業

BPaaS事業

(2) 企業結合日

2024年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社、株式会社kubellパートナーを承継会社とする新設分割 (簡易新設分割)

(4) 結合後企業の名称

株式会社kubellパートナー

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、顧客の業務効率と生産性向上をサポートするため、経理業務や労務業務等のノンコア業務について、ソフトウェアの提供にとどまらずそれら業務のビジネスプロセスそのものをサービスとして提供するBPaaS事業を展開して参りました。具体的には、2023年2月にクラウド型就業管理・人事評価システム、労務アウトソーシングを提供する株式会社ミナジンを連結子会社化し、2023年6月には、当社にてバックオフィスの非専門領域全般の支援等を行うChatwork アシスタントをリリースいたしました。

本分割は、今後、当社としてBPaaS事業を拡大していくにあたり、BPaaS事業を別法人にて行うものとする

グループ体制の再構築を行うことで、経営の効率化や市場環境の変化に柔軟に対応できる機動的な事業運営を実現し、当社グループの企業価値の更なる向上を目指すことを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しています。

(重要な後発事象)

(セキュリティ事業の廃止)

当社は、2024年8月14日開催の取締役会において、以下のとおり、セキュリティ事業を廃止することについて決議いたしました。

1. 事業廃止の理由

当社は、2010年よりESET社の提供するセキュリティ対策ソフトウェア「ESET」の代理販売を行ってまいりましたが、本年2月に発表した中期経営計画2024-2026で掲げた中期ビジョン「中小企業No.1 BPaaSカンパニー」の実現に向け、事業の選択と集中を促進しリソース配分の最適化を図る観点から、セキュリティ事業を廃止することとしました。

2. 廃止事業の概要

(1) 廃止事業の内容

セキュリティ対策ソフトウェア「ESET」の仕入販売

(2) 廃止事業の2023年12月期における経営成績

	セキュリティ事業
売上高	187,960千円
営業利益	39,965千円

3. 事業廃止の時期

2024年12月31日(予定)